

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 46

福岡市東区大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

・ プログラムライブラリ開発課題の募集について	1
・ SSL ALGOLのレベルアップについて	7
・ C, DJOBのJOB依頼について	7
・ 共用ボリューム継続利用	7

◇ プログラムライブラリ開発課題の募集について

先に公募しましたプログラムライブラリ開発課題は、既にお知らせしました様に、14課題が認められ、昭和47年4月に開発作業をスタートいたしました。いくつかの課題では、すでに開発を終了し、資料の整理など、登録のための準備を進めています。今回は初めての試みで、いろいろと不備があり、開発者の方々には御迷惑をおかけしてしまいました。

この間、センターでは、いろいろな問題点を考慮しながら、今後の開発をどの様に進めていくか、という事について種々検討してきましたが、次の様な方法で今後のライブラリ開発収集を行なっていくことになりましたのでお知らせします。

募集要項にあります様に、センターでは随時、プログラムライブラリ開発課題を募集いたします。

募集の対象となる開発課題は、要項1にある様なプログラムの開発ですが、これには、新たに作成されるプログラムの他に、他所ですでに開発されているプログラムの書替も含まれます。

開発計画をお持ちの方は様式1の「プログラムライブラリ開発課題申請書」に必要な事項を記入し、センター図書室に提出してください。センター内での検討、プログラムライブラリ委員会の審議を経て、運営委員会の承認が得られた課題は、センターのライブラリ開発計画として認められた事になり、プログラム作成のための便宜が図られます。そして、年四期に分けて4月、7月、10月、1月に開発作業を開始していただく事になります。ただし、他センターに登録されているプログラムの書替については、募集要項にあります様に、種々の手続きをとるために最低2〜3ヶ月を要しますので、その点を考慮に入れた上で計画を立ててください。

なお、ライブラリ開発に際しては、できるだけ分野毎にまとまって系統的に作業をすすめて

いただく様協力していただきたいと思っています。特に、いくつかのセンターで同じプログラムの開発を別々にすすめる、という様な無駄を省くために、センター間での情報交換も行なり様にしていますので、課題によっては、他のセンターにおけるライブラリ開発者と共同で作業をすすめていただく事もあり得ると思われまます。

開発作業中は、適宜に経過報告をしていただき、完了した場合は終了報告をしていただく事になります。その結果できあがったプログラムは原則として、センターのライブラリとして登録されることとなります。

この様にして、利用者の方々のプログラム開発計画の内、ライブラリとして登録できるものを、センターのライブラリ開発計画の中にとり入れ、センターのライブラリを充実させたいと考えていますので、利用者の方々の御協力をお願いします。

また、この他にできあがったプログラムのライブラリへの登録も従来通り取り扱っておりますのであわせて御協力をお願いします。

プログラムライブラリ開発課題募集要項

1. 対象となる課題は
 - (イ) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラム
 - (ロ) ある専門分野に限られるが、その分野の中では広く使われる可能性のあるプログラムのいずれかであり、できあがったプログラムはセンターライブラリとして登録可能であること。
2. 開発課題の申請は随時センター図書室で受付ける。
3. 申請された開発課題はプログラムライブラリ委員会で審議し、承認された課題は年四期に分けて(4月、7月、10月、1月)開発作業を開始する。
4. 開発課題に対して、ライブラリ開発用の課題番号を開発課題それぞれに割当てる。この場合の計算に要する計算機利用負担金は、センターの負担とする。
5. 課題の作業期間は年度内とする。従って、長期にわたる開発課題の申請は年度始めから作業を開始できる様、前年度中に行なりこと。
6. 他センターライブラリの書替については、プログラムライブラリ委員会承認の後、当該センターを通してプログラム作成者の了解を得ること、および関係資料をとりそろえるまでに2〜3ヶ月を要することがあるため、早目に申請すること。
7. 開発のための計算受付などは通常の手続きによること。

ただし、開発作業上必要なファイル利用、特殊なジョブ処理等については、センター図書

室に申し出ること。

8. 開発作業中は、2ヶ月毎に作業の経過報告（ライブラリ開発進行状況報告書）を提出し、作業が終了した場合はライブラリ開発終了報告書ならびにライブラリプログラム説明書を添付し、終了報告しなければならない。

センター長	次 長	事 務 長	開発部長	業務掛長	ライブラリ 室 長

プログラムライブラリ開発課題申請書

九州大学大型計算機センター

センター長 高 田 勝 殿

下記のようにプログラムライブラリを開
発することを申請します。

受付番号	
受付年月日	
開発番号	

開 発 課 題						
予想作業期間	年 月 日から		年 月 日まで			
予想計算時間						
開 発 者	責任者氏名		所 属		身 分	
	TEL () - () - () 内線 ()					
	担当者氏名					
プログラムの形式	a. コンプリートプログラム	b. サブルーチン	c. 関 数			
		d. 手 続 き	e. 関数手続き			
使 用 言 語	a. FORTRAN		b. ALGOL		c. FASP	
	d. PL/I		e. その他 ()			
使用機器構成	a. カードリーダー	b. ラインプリンタ	c. カードパンチ			
	d. 紙テープリーダー	e. 磁気テープ () ユニット				
	f. ディスクパック	g. その他 ()				
プログラムライブラリ委員会附議 (可 ・ 否)						
昭和 年 月 日 委員長 ㊟						
上記申請を承認いたします。ついて						
は右の課題番号および登録名により						
開発を依頼します。						
九州大学大型計算機センター						
昭和 年 月 日 センター長 高 田 勝 ㊟						

注 1. 太線の枠内に記入してください。

2. プログラムの形式、使用言語は未定の場合は記入しないでください。

開発課題の説明（資料があれば添付してください）

開発によりもたらされる効果

作業の分担・手順

備 考

ライブラリ開発進行状況報告書
終了

開発番号	
報告年月日	年 月 日

開発課題	
開発者	氏名 所属 身分 TEL ()-()-()内線 ()
計算時間	現在までの使用時間
	今後の予想時間

開発結果および進行状況(具体的に)

センター長	次長	事務長	開発部長	業務掛長	ライブラリ室長

注) 紙面がたりない場合は別紙を添付してください。

◇ SSL ALGOLのレベルアップについて

現在使用中のSSLは

SSL.F-V4.L3 (FORTRAN)

SSL.A-V3.L10 (ALGOL)

ですが、ALGOLがレベルアップされ、11月13日よりSSL.A-V3.L11となります。レベルアップに伴ない修正される項目は以下のとおりです。

分類コード	呼び出し名	修正内容
B/026	CEP12A CEP12B	精度、速度の向上
I/003	LAGA LAGB	プロミスがあって解が正しく求まらなかったのを修正

◇ C, DJOBのJOB依頼について

11月ともなれば、JOBも増加してきてJOBのターンアラウンドタイムが遅れがちになりやすいので、特にC, DJOBを依頼される時にコントロールカードエラーやコンパイルエラーなどで返却されないためにも十分に内容のチェックをして計算依頼をして下さい。

業務掛

◇ 共用ボリューム継続利用(昭和45年1月から3月まで)

現在申請し共用ボリュームを利用されている方で、(昭和45年1月から3月まで)継続して、利用を希望される方は、下記の要領で継続利用の申請をしてください。

なお、継続利用の申請がない場合は、現在利用されている共用ボリュームは、スクラッチされます。

記

○ 申込み期限

12月16日(土)まで

2F 総合受付へ

